

くらしの絵コンクール

KURASHINOE-CONTEST

第30回記念作品集



第30回石川県知事賞 平成19年

「最後の牛」宇出津小学校 3年／和田 祐樹（JAおおぞら）

くらしの絵コンクール30周年を迎えて ごあいさつ



ＪＡバンク石川信連
経営管理委員会会長
安田舜一郎

くらしの絵コンクール 30 年にあたりまして、ひと言ごあいさつを申し上げます。

くらしの絵コンクールは、昭和 53 年に農協法制定 30 年を記念し、未来にはばたく子どもたちの素直な心を絵に描いていただくことを目的に開催いたしました。

コンクールのテーマも、30 年間一貫して「くらしと農業」とし、農業にかかわる仕事の様子や体験・生活を、子どもたちの絵を通して、語り続けられればとの願いがありました。

30 年間を顧みますと、コンクールのあゆみが石川県農業の歴史を現すことに一定の役割を果たすことが出来たものと感慨をあらたにしているところであります。

私どもＪＡバンク石川は、コンクール 31 年目にあたる本年 4 月から「ＪＡバンク石川アグリサポート事業」を立ち上げ、事業の一環として「ＪＡバンク食農教育応援事業」を開始致しました。

この取り組みは、子どもたちに食、環境等と農業のつながりを知ってもらい、農業への理解を深めていただくよう、参考図書をＪＡから小学校に贈呈させていただくとともに、各種の「食農」、「環境保全」、「金融経済」の教育活動について、様々な支援を行うものであります。

これらの取り組みを通じて感じますことは、まさに当コンクールのテーマが、現在においても何ら変化することのない普遍的なテーマであったということであり、今後とも、子どもたちの素直で誠実な気持ちを大切に、こころ温まる事業として育んでいく所存でありますので、より一層のご理解とご指導をお願い申し上げます。

最後に、当コンクールの運営にご協力いただきました「石川県」、「石川県教育委員会」、「石川県金融広報委員会」、「農林中央金庫」の関係各位とともに、歴代審査員の皆様、そして学校関係の皆様方のあたたかいご支援に対しまして、あらためて厚くお礼申しあげ、ごあいさつとさせていただきます。

記念座談会 ～ 歴代審査員大いに語る ～

くらしの絵コンクール

30年をふりかえって

開催日 平成 20 年 3 月 25 日（火） 会 場 ホテル日航金沢 松の間

出席者



石川県児童文化協会 参与

武内 力



現代美術家協会 会員

田浦 隆透



金沢学院大学美術文化学部 准教授

西田 伸一



日展会友

長谷川 清



石川県教育センター 指導主事

安田 淳



J Aバンク石川信連 理事長

森 喜久治



J Aバンク石川信連 専務

二口 和忠



J Aバンク石川信連 常務

西本 哲郎



第 1 回審査風景（昭和 53 年）



第 20 回審査風景（平成 9 年）



第 26 回審査風景（平成 15 年）

30年をふりかえって

◎森 「くらしの絵」コンクール
30周年記念座談会の開催にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。審査員の皆様には、年度末のお忙しい中、ご出席を賜りましてありがとうございます。



森理事長

「くらしの絵」コンクールにつきましては、農協法制定30年を記念しまして昭和53年にスタートし、コンクールのテーマも30年間一貫して「くらしと農業」として取り組みさせていただきました。

30年間を顧みますと、コンクールのあゆみが石川県農業の歴史を現すものになっているのではないかと考えており、「くらしの絵」コンクールが石川の農業振興に一定の役割を果たしてきたと思っています。審査員の先生方には30年間大変なご協力とご指導をいただきましたことにつきまして、改めて感謝申し上げます。

本日は、『くらしの絵』コンクール30年をふりかえって」と題して、歴代の審査員の皆様にコンクールの思い出等を大いに語っていただこうと座談会を企画いたしました。限られた時間ですが、よろしくお願い申し上げます。

コンクールの精神と育み

◎武内 コンクールの審査会場は、最初、本多町の六華苑でした。当初はコンクールの趣旨が十分理解されていなく、JAさんがともかくたくさん応募させようと大変な数の作品が集まりました。中にはわら半紙の作品もありましたが、これらの中にも素晴らしい作品がありました。反面、未完成の作品も相当ありましたね(笑)。

初代審査員長の南先生が最終審査されるので、私と田浦先生の二人で事前審査をしました。当時南先生がよく口にしたことは、「子どものころを読みなさい。模倣

するのでなく、低学年は低学年、高学年は高学年、中学年は中学年と、感じたままを描くことが大切だ。そういう活動にしなければダメだ。」ということを今でも鮮明に覚えています。

◎田浦 旧の農業会館で審査したこともありでしたね。

応募数は多いのですが、中には包装紙の裏に作品を描いてきたものもありました。事前審査は作品の評価というより、作品を仕分ける作業に近かったと思います。

◎西本 コンクールの生い立ちではありますが、コンクールの企画がもちあがったのは昭和53年です。



西本常務

当時の推進部長から、農協法制定30年を記念して何かイベントを行わないかと提案があり、子どもの絵は素朴で、素直でないのではないかとということになりました。そこで私と先輩二人で教育委員会に行き、「子どもの絵のコンクールをしたいのですが、どうしたらいいのでしょうか」と相談させていただいたとき、田浦先生をご紹介いただきました。

◎田浦 昭和53年でしたね。その時の推進部長さんが南萬三先生と風流友達だったんですね。南先生のご自宅へ行って審査員長になってもらうことを決めてきました。それで南先生は武内先生を紹介されて、じゃあコンクールをやるうかと、こんな感じでスタートしました。

◎西本 コンクールが30回を重ねてこれたのも、審査委員長を南先生・武内先生・田浦先生にご就任いただき、コンクールの位置づけ・あり方等、きちっと方向付けしてもらえたからだと思います。

◎武内 「くらしの絵」コンクールは上手な絵を選ぶコンクールではないのです。



「気持ちがある作品、温かみのあるほのぼのとした作品を選ぶ。」これが南先生のモットーでしたね。

「絵は描いた気持ちを表すものだから、描いた子どもの思いを読みとりなさい。」という審査方針が徹底していました。

これが大きなエネルギーや力になったのではないのでしょうか。



武内先生

◎田浦 最初はいろいろと混乱もありましたが、第3回あたりからコンクールの趣旨が浸透し始め、良い作品がどんどん出てきました。

◎長谷川 子どもの絵というのは、指導者が指導を間違えると大変なことになるということを肝に銘じておかないとダメですね。

私は小学校・中学校に38年間勤務しましたが、その間、子どもの絵を研究テーマにしてみました。

一番危険なのは、うまい絵にはまりこんでしまうということです。

大きな子どもの絵のコンクールがありましてね。教師が教え子をレベルアップさせなければならないと思ったのでしょうか。先生の顔色を気にした同じ技法・イメージの絵がどんどん出てきました。こうしたことは今でも起こりえることです。

◎安田 本当に危険な問題だと思います。子どもの絵を審査する時は、その子の良いところを引き出していくこと

「くらの絵コンクール」は
上手な絵を選ぶ
コンクールではないんです。——武内



第2回 農林中央金庫賞 河原幸司

描いている情景を
少しでも感じとってやろうという思いは、
審査員一同の願いでもありました。

——田浦



第12回 石川県貯蓄推進委員会賞 松岡一生

が大切です。「くらしの絵」コンクールはその大切なことを貫いている。

最初の審査員の3人の先生方がきっちり方針を決めたところに意義がありますね。

ある画塾に行ったら、子どもの絵がものすごくうまいんです。大人が描いたのではないかと思えるような作品が、ズラッとあるのですが、これは塾がパターンを作って子どもたちに描かせているのです。子どもが描いた生き生きとした絵がないという残念な例です。

一番大切なことは、南先生がおっしゃった「子どもの顔が見える」、「心が読める絵」を評価することだと思います。審査させていただく者として、これからも大切にしていきたいと思います。

◎西田 このコンクールは貴重な存在なのですが、残念ながら最近出品数が減り気味だとお聞きし、心配しています。

審査員の時から思っていたのですが、「くらしの絵」コンクールが県内の各小学校、中学校の美術教育に影響を与えるくらいのコンクールになって欲しいと思っています。このコンクールにはそれだけの価値があります。

◎田浦 「くらしの絵」コンクールは最初の方針がずっと貫かれています。

つまり、子どもの気持ちを汲みとってあげよう、描いている情景を少しでも感じとってやろうという思いは、審査員一同の願いでもありました。



田浦先生

指導過剰の絵は、先生の個性が出ているだけで、子どもの個性が全く出てない。そういう絵は採りませんでした。うまくなくても、子どもの気持ちが素直に描かれ

ている明るい絵を選びました。つまり、子どもの発達段階にふさわしい作品を選ぶよう努めました。

◎安田 コンクールの精神を意識して審査していると、「僕が子どもの絵を見ている訳ですが、逆に子どもたちが僕を試しているのではないか。」と感ずることがあります。

先日、ある幼稚園から子どもの絵の話をしてくださいということで行ってきました。「くらしの絵」コンクールに携わってなかったら話は出来なかったと思うのですが、講義の後、「どうやって子どもの気持ちを汲み取るか」というテーマで幼稚園の先生方と話し合いをしました。

大切なことは、子どもの発信力とそれを受け取る我々の受信力が大変重要だということです。上手とか下手とかじゃなくて、いい絵だということに尽きると思います。

審査会の最終審査のときに、「この絵の良さはここで、ここを評価した。」等の説明をさせていただき喜びがあり、良い審査会だと思います。

「先生、あのときこんなにびっくりしたんだよ。こんなふうに楽しかったんだよ。」という子どもの思いが「くらしの絵」コンクールの底に流れている。この重みがすごいと思います。

◎武内 家族の働く姿を描くのがコンクールの趣旨にあっていると思います。家族とのつながりをうかがえるような、そういう絵も多くありました。

小学校1年生の絵だと覚えているのですが、スイカをうまそうに食べている絵がありました。非常に感動しました。

「家族」とか「農業」とか「くらし」をテーマにしたコンクールは他にはないので、今後も大切に育んでいきたいと思っています。

図工教育と教育現場の変化

◎森 第1回の出展数を見ますと、1,000点以上が出展されていましたが最近、200点ぐらいとなっています。

主催者としてなぜこうなったか問題点を探るべきだと考えています。

また何故、能登地区が多くて加賀地区が少ないのか、不思議ではないんです。県域平等にコンクールのご案内をしているのですが、こうした状況が続いています。なぜなのでしょう。

◎田浦 まずは児童・生徒数の減少と授業時数の減少が大きな原因でしょうね。また、地域によっては「授業以外のことはしない。」という傾向が強いところもあります。これはやはり先生の考え方によりますが、学校田や学校農園をもっている学校では、4月のカリキュラム作成段階で、図工科や生活科で絵を描かせている学校もあります。

◎安田 25年前の石川県の子どもの数は、小学生が11

万7千人いました。平成19年は6万8千人になっています。子どもの数が減っているということも一つの要因です。

もう一つ、教育改革によって10年ほど前から図工・美術の時間が減りました。以前は授業で描いた作品が応募されてきましたが、第30回では授業で描いた作品の応募はほとんどありませんでした。

◎西本 例えば新聞に子どもたちの絵を掲載し、コンクールのPRを行う等考えられませんか。

◎安田 いろいろなコンクールが行われている中、図画工作・美術の時間が少ない状況で授業として取り上げてもらうのは難しいと思います。

「くらしの絵」という一貫したテーマがあるので、夏休みの宿題として子どもたちに描いてもらい、テーマに合うものは「ぜひ送ってください。」と学校へお願いする。そうすれば、まだまだ集まるコンクールだと思います。



安田先生



平成19年10月14日 農林漁業まつりでの展示・表彰式風景

集め方は工夫次第だと思います。ただ授業の中でお願いしますというのは、難しいと思います。

◎**田浦** J Aバンク主催のくらしの絵コンクールなので、食育や環境を意識した参加校募集を呼びかけるよう、ひと工夫していったらどうでしょうか？このコンクールは農業や環境を特に大切にしようというコンセプトですからね。

◎**二口** 本年4月からのJ Aバンク石川アグリサポート事業を踏まえ、食育や環境についても意識したコンクールにしていく必要がありますね。

◎**武内** 学校賞は最初のうちは効果的だと思いますが、長く続けていると学校賞を受賞するのがいつも同じ学校になるという現象が起こります。学校賞を決めるのも結構大変なんです。

私は、審査員を辞めて長くなりますが、今でも素晴らしい作品が応募されてくることを評価しなければならぬと思います。

応募を広く求める方法として、児童館も一つのルートだと思います。児童館の先生、保育士の方々が関心をもたれると、応募してくれると考えます。ただし低学年の作品が多くなりますけど（笑）。

◎**西田** 図工の授業時間が減っている反面コンクールが増えています。先生方はどのコンクールを選択すべきか、結構苦しんでいるというのが実情です。ですからコンクールの案内は早めに出したほうがいい。

「くらしの絵」コンクールの教育的意義

◎**武内** コンクールの教育的意義は、「子どもの目で見えた農業・くらし」が絵になることにあると思います。コンクールの歴史を顧みますと農業の変遷が現れています。

一番感動したのは、水不足の年の作品。おじいさん、おばあさんが真剣に仕事をしていることを表現している。水不足を子どもなりに心配し、家族が頑張っている姿を描いていました。また、農業が機械化されていく様子やハウス作業の作品なども訴える力があつたと思います。

◎**長谷川** 田舎へ行くと農地を見ないと、隣の家まで行けない。さらにおじいちゃん、おばあちゃんと同居している子どもが多い。「ただいま」って帰ると、おじいちゃん、おばあちゃんは畑に出かけている。おじいちゃん、おばあちゃんに会いに行くと、農作業をしている姿を見ることになります。



長谷川先生

ところが金沢市内はどうでしょう。アパート・マンション・団地が多く、環境の違いも大きいと思います。時代が変わる中、農業に関心を持ってもらうにはどうしたらいいか考えたことがあります。ジュースはどうやってできるのか。畑で獲れたくだものを収穫して、それを機械で処理して製品になるということを理解させる必要がある。そういう意味ではコンクール・作品集そのものが食育教育だと思いますね。

◎**武内** 小学校2年生の理科の授業でプチトマトを栽

石川アグリサポート事業を踏まえ、食育や環境についても意識したコンクールにしていく必要がありますね。——二口



第15回 石川県教育委員会賞 山田正樹

コンクール・作品集そのものが 食育教育だと思いますね。——長谷川



第16回 石川県教育委員会賞
宮下泰明

培したら、プチトマトの絵がたくさん応募されてきました。農業を広く解釈すれば、こうした作品も良いと思います。コンバインの絵があったり、しいたけが何本も出た絵が来る。未だに祭りの絵が来るなんて、「くらしの絵」コンクールらしいのではないのでしょうか。

◎**田浦** これからは食育の面からも考えなければいけない。

先ほど農作業の話も出ておりましたが、総合学習とか生活科で、子どもたちは結構農作業を体験しています。

ＪＡの方や農家の方が指導・協力されているわけですから、その方々を通して農作業の絵を描いてくださいと声かけしていただけるとよいですね。

◎**安田** ほとんどの絵の題材が家族ですね。おじいちゃん、おばあちゃんや、お父さん、お母さんであったりとか。家族が農業に携わっている絵が多く応募されてきます。

学校で地域のＪＡの方が、田植えとか稲刈りを教える。参加してきた児童に今回の体験を絵に描いてくれませんかというようにお願いしていただくと、作品も多く集まるのではないのでしょうか。

◎**森** 例えば、毎日の家族の食卓風景を絵にする。これもまさに食農教育と言えると思います。

◎**武内** 教育界も学校も今、そういう運動が芽生えつつあります。子どもたちが体験できる農業学習が多少減ってきているのが気掛りなのですが。

◎**二口** 今までの取り組みの中で、反省しなければならないのは、もっとＪＡの皆さんにコンクールへの理解・認識を高めてもらうべきでした。ＪＡと信連が一緒になってＰＲすれば流れも変わっていたと思います。

コンクールを通じた社会への 貢献と子どもの成長

◎**安田** 今日ここへ来る前に、家の近くのＪＡに寄ってきたのですが、そこで思ったのが、現金袋に子どもが描いた絵が印刷されていたらいいなと思っていました。

コンクールの受賞作品をＪＡの現金袋に載せてあげるだけでも、すごい効果になるし、「くらしの絵」コンクールというタイトルを載せておけば、いい宣伝になるのではないのでしょうか。

◎**長谷川** 子どもは宝物です。コンクールの営みを通して「ＪＡはこんな取り組みをしています。」と、「ＪＡはこんな素晴らしいことをしています。」といろいろな方向に発信していくべきだと思います。

子どもの絵を現金袋等に載せるのも大事なことです。

◎**田浦** 小学校では、理科や生活科で花壇に花を咲かせたり、芋堀りや、学校田で田植えをする等の体験学習を行っている学校も多いと思います。

そういう学校からその作業内容を絵に描いて、ぜひコンクールにぜひ出展してもらいたいものです。

◎**二口** 数字を見てびっくりしたんですけども、30年間で、14,000点余りの作品が来ます。ということは14,000人の子どもたちと関りを持てた。これは大きな財産だと思います。



二口専務

「美術は言葉じゃない。
言葉じゃないから絵に表す。」
ということです。——西田



第17回 石川県知事賞 かいどうみつひで

◎**安田** 実は岡本惇太くんという子の審査結果に関心をもっていました。審査会でこの子の成長を見てきたのですが、岡本くんは小学2年生から中学1年生まで、続けて作品を出してきているんです。審査員を7年やっていて、去年あの子の絵があったな、今年はどうだろうと見ているのですが、彼はそのうちの一人なんです。実は小学2年生、3年生のときは家庭での指導がうかがえるんですが、4年、5年、6年生と見事に成長しているんです。

小学校4年生から自分の意思で描き出し、5年生できちっと力をつけて6年生で本当に開花した。そして中学生になったら中学生の目線の絵になっています。もう一人今井美緒さんの絵もそうでした。子どもたちの成長が絵に足跡として描かれてくる。これはすごいことだと思います。

◎**武内** そんな子は美大目指すやろうね(笑)。このことをずっと積上げていくことはその子の大切な財産になります。

◎**安田** 先ほど武内先生から絵の題名の話が出ましたが私が審査させていただいたときは既に絵に題名がついていました。題名は、子どもの思いがそのまま絵にあらわれている作品と、適当につけたなっていう感じの作品とすぐにわかりますね(笑)。印象に残っている題名が、第30回の知事賞の「最後の牛」という絵でした。すごく印象的ですねと思います。

◎**長谷川** 小学生の図画工作の授業を持っているとき、どうしても描けない子がいました。そこでこの子はしたら描くことができるのだろうか考えました。気持ちをほぐすため、最初から絵を描きなさいとは言いませんでした。「友達やお母さん・先生に、伝えたいことを絵に描いてみたらどうだろう」と言ったら、その子どもが絵を描き始めたんです。題名を通して子どもの思いや感動が感じ

られたらその子の営みが汲みとれたといえるのではないのでしょうか。

◎**西田** 「美術は言葉じゃない。言葉じゃないから絵に表す。」ということです。絵と言葉が一体となって子どもの思いを表す、このことが大切なのです。

絵で表現することと言葉で表現することは、コミュニケーションツールが違うだけであって、

「子どもたちが描きとったこと、見たこと、感じたことを絵を通して伝えよう」という活動そのものが、教育につながる一番大事なことだと思います。

子どもたちは絵を上手に描こうとは思っていないし、私たちもそう指導していない。絵を描くことを通して何を学んだのか、このことを読み取ることが大切だと思います。



西田先生

今後に期待するもの

◎**西本** 最後に先生方から一言ずつ、コンクールが目指していくべきものは何かをお話いただきたいと思います。

◎**武内** こんなに素晴らしい成果を挙げているのだから、「継続は力なり」のとおり、絶やさず続けていくべきだと是非申しあげたい。今日は本当にいい話を聞かせていただき、感謝しております。

◎**田浦** 人間が心を開く最初の営みは、幼児が体験を絵に描くことです。字は知らないが絵は描く、絵に表現するということは、人間本来の原初的な行動だと思います。

す。大きくなれば、文学とか音楽とか表現方法はいろいろありますが、絵を描くことは、一番最初の人間の形に残る表現行動です。この意味からも、絵の表現活動は大事にしていきたいものですね。

また、このコンクールは「くらしの絵」ですから、子どもたちに日常生活をしっかりと見つめる目を育んでもらいたいという願いがあります。つまり社会性を含めた「食育」や「環境」だけでなく「徳育」も含めたコンクールにしていきたいものですね。

◎長谷川 私は審査員をして3年ですが30回の歴史のあるコンクールの素晴らしさを改めて感じております。そこに流れるものは子どもを見守る姿と、子どもが絵を描くことに喜びを感じているということです。絵を描けない子、絵が嫌いな子はいません。このことは指導者の一人として肝に命ずべき大事なことだと思います。

日本の農業を見ますと、自給率は40%そこそこです。日本の置かれている現状を踏まえて、子どもたちに農業の大切さを訴えていく必要があります。そのためにこのコンクールは絶対必要であり、ぜひ続けてほしいと思います。

◎西田 30年間受け継がれてこられたことに、まずもって敬意を表します。審査する立場の者として、学ばせてもらったものがたくさんあります。是非ともこのコンクールを大事に育ててほしいと思います。「くらし」とか「家族」とかは、今の時代極めて大切なことだと思います。テーマも時代が変わったからといって変えたりするのではなく、ずっと受け継いでほしいと思います。

◎安田 子どもたちの個性は時代とともに変わると考えています。子どもたちの発育段階は昔も今も何も変わっていないと思うのですが、環境や社会の変化を受けて大

人の考え方が変わる。その影響を受けて、子どもたちが変わっていくのではないかと思います。

子どもたちが持っている純粋無垢な気持ちや心を、大人がしっかり見守ってあげていないから、現代社会がゆがんでくるのだと思います。

子どもたちの素直な心が絵に表れるためには、大人が子どもたちの心をしっかりと受け止めることが重要です。その意味から、「くらしの絵」コンクールは大きな役割を果たしていると思います。

「くらしの絵」というテーマの設定は本当に素晴らしい。農業に軸足を置きながら、自分の生活をいま一度見つめることからの広がり、無限だと思います。

◎森 先ほどからお話を聞いていますと、私達は、この30年間淡々と仕事をしてきた面があったのではないかと大いに反省しております。

反面、「くらしの絵」コンクールを通して、子どもたちや地域に貢献できたことにつきまして、評価されるものもあったのではないかと思います。

あらためて30年続けてきて良かったと思います。これまで築き上げてきた事業ですので、今後とも多くの学校から、一人でも多くの生徒に参加していただけるよう工夫して参りたいと考えております。

J Aバンク石川では、4月から「J Aバンク石川アグリサポート事業」を立ち上げることにしておりますので、この事業の中に「くらしの絵」コンクールを改めて位置づけ、食農教育を踏まえた、事業運営に取り組んで参りたいと思います。

本日の座談会を新たな出発点として、くらしの絵のコンクールを更に充実して参りたいと考えておりますので、今後ともよろしくご指導をお願い申し上げます。

本日はありがとうございました。

一人でも多くの児童・生徒に
参加していただけるよう
工夫して参りたいと考えております。——森



第19回 石川県教育委員会賞
児島智美

歴代審査員のご紹介

故 南 萬三 先生

第1回～第14回 審査員長
第15回 顧問



【昭和3年】
石川県師範学校専攻科卒
【昭和19～36年】 小中学校 校長
【昭和56～61年】 金沢市立城北児童会館 館長
文部大臣賞・勲五等雙光旭日賞・
石川テレビ賞等受賞

武内 力 先生

第1回～第14回 審査員
第15回～第25回 審査員長



【昭和28年～49年】
金沢市内の小学校に勤務
【昭和61年4月～】 石川県内の児童会館に勤務
石川県立小松児童会館 館長／
石川県立中央児童会館 館長／
石川県児童文化協会 理事長
【現在】 石川県児童文化協会 参与

田浦 隆透 先生

第1回～第25回 審査員
第26回～第30回 審査員長



【昭和31年～平成6年】
金沢市・加賀市内の小学校・中学校に勤務
金沢市教育委員会図画工作科 指導員（3年間）／
石川県教育委員会美術科 指導主事（7年間）
【平成6年～18年】 金城大学職員・
金沢大学教育学部講師（非常勤）
【現在】 現代美術家協会 会員

吉田 亮一 先生

第15回～第17回 審査員



【昭和51年～平成3年】
金沢市内の高等学校に勤務
金沢泉丘高校 教諭／県立工業高校 教諭
【平成3年～7年】 石川県教育センター 研修指導主事
【平成7年～13年】 金沢市内の高等学校等に勤務
【平成13年～19年】 石川県立保育専門学園に勤務
【現在】 石川県立小松養護学校 教頭

西田 伸一 先生

第18回～第23回 審査員



【昭和49年～55年】
石川県立明和養護学校に勤務
【昭和55年～平成20年】
石川県内の高等学校に勤務
寺井高校 教諭／鶴来高校 教諭／石川県教育センター／
研修指導主事／金沢泉丘高校 教諭
【現在】 金沢学院大学美術文化学部 准教授／日展会友／
光風会 評議員

安田 淳 先生

第24回～第30回 審査員



【昭和61年～平成13年】
石川県内の高等学校に勤務
津幡高校／小松明峰高校／小松工業高校
【平成13年～】 石川県教育センターに勤務
【現在】 石川県教育センター 図画工作科・美術科・
芸術科（美術、工芸）指導主事
一陽会会員・審査員／サロン・プラン美術協会委員／
石川県美術文化協会 評議員

大宮 弘一 先生

第26回～第27回 審査員



【昭和43年～平成19年】
金沢市内の小学校に勤務
金沢市内小学校図画工作科 教諭／
金沢市立浅野町小学 校長／
金沢市立長田町小学 校長
【現在】 星稜幼稚園、星稜泉幼稚園 園長

長谷川 清 先生

第28回～第30回 審査員



【昭和37年～平成11年】
石川県内の小学校・中学校に勤務
加賀市立分校小学校 校長／
山中町立山中小学校 校長
【平成16～18年】 山中町教育委員長・
山中町教育文化功労賞受賞
【現在】 日展会友／一水会会員／北國文化センター講師

第30回くらしの絵コンクール

総合評価

「くらしの絵」コンクールも、今年で30回を重ねることになりました。子どもの絵コンクールとしては、一つの歴史を築いたともいえるでしょう。

この30年間、世界の自然や社会の環境は大きく変わりました。国際化も進み、農業を取り巻く環境も変わってきました。当然、コンクールの作品テーマも、まさに「時代を写す鏡」のように移り変わってきました。その点、このコンクール30年の歩みは、将来にわたって、貴重な歴史資料として残ることでしょう。

このコンクールはスタート時以来、作品審査で最も大切にしてきたこと、それは当然ながら技能的に「うまい絵」より、心情的に「素直な絵」を優先し、選定してきました。つまり、子どもたちの発達段階にふさわしい作品を選ぶということです。

「絵は心の窓」とよくいわれます。私たち現代人は、遠い原始時代の造型物や絵画に心惹かれるように、邪気のない子どもたちの絵は、実に魅力的です。ほのぼのとした温かさ、優しさのなかにも力強さがあります。例えば農作業をしている家族を描いた絵をじっと見ていると、鮮やかな色彩や力強い描線のなかに、描き手の子どもと描かれている家族との温かい人間関係が、じーんと伝わってきます。一方、描写が技術的にいかに写実的で優れていても、明らかに子ども本来の描写ではない作品からは、このような心の響き合いは伝わってきません。「子どもの絵」は本来、教育的にも「技能」より「情感」や「誠実さ」が優先されるべきでしょう。

最近、地球の「自然」や「資源」、日常生活における「食の安全」、「健康」など、農業と関わりが深いことがらが多くなりました。

これからの学校教育や社会教育では、これらに「地球文化」を絡めた活動が、ますます盛んになることでしょう。特に学校教育の中では、社会科・理科・生活科などの活動を作文や絵で表現する機会も増えることでしょう。第31回からの「くらしの絵」コンクールに期待しましょう。



第30回くらしの絵コンクール審査会

審査員長 田浦 隆透

審査員 長谷川 清

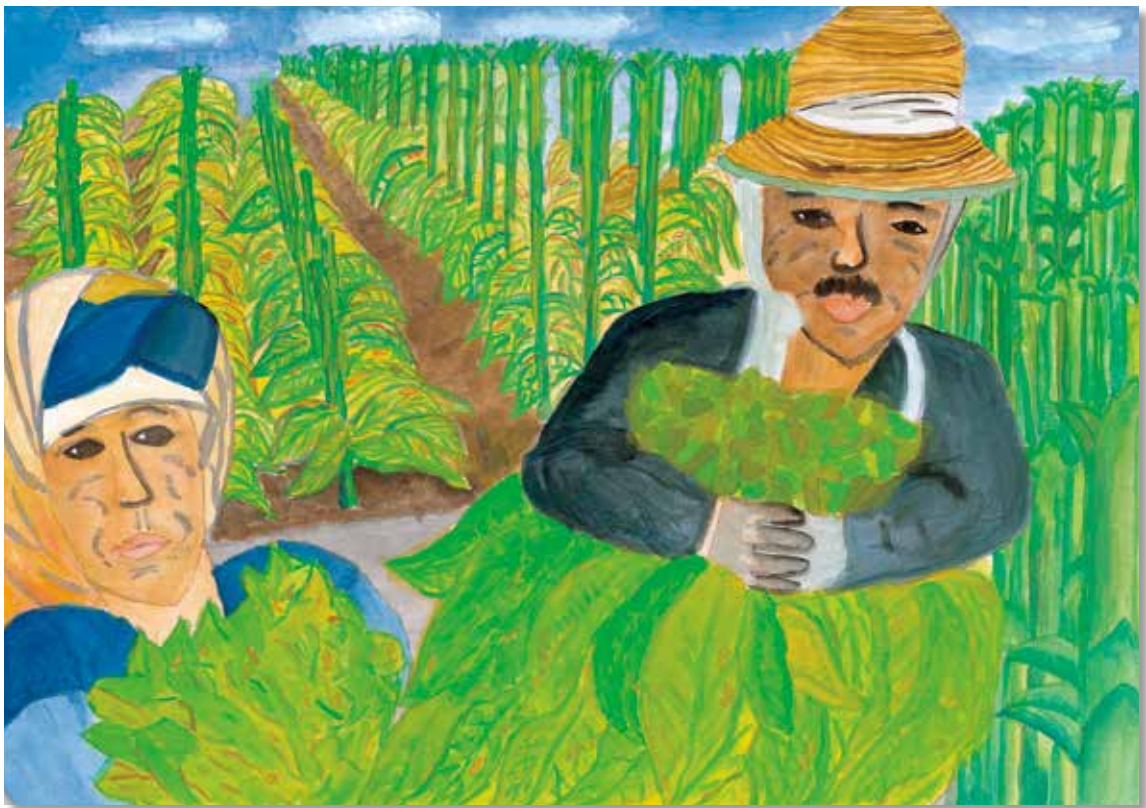
審査員 安田 淳

石川県教育委員会賞



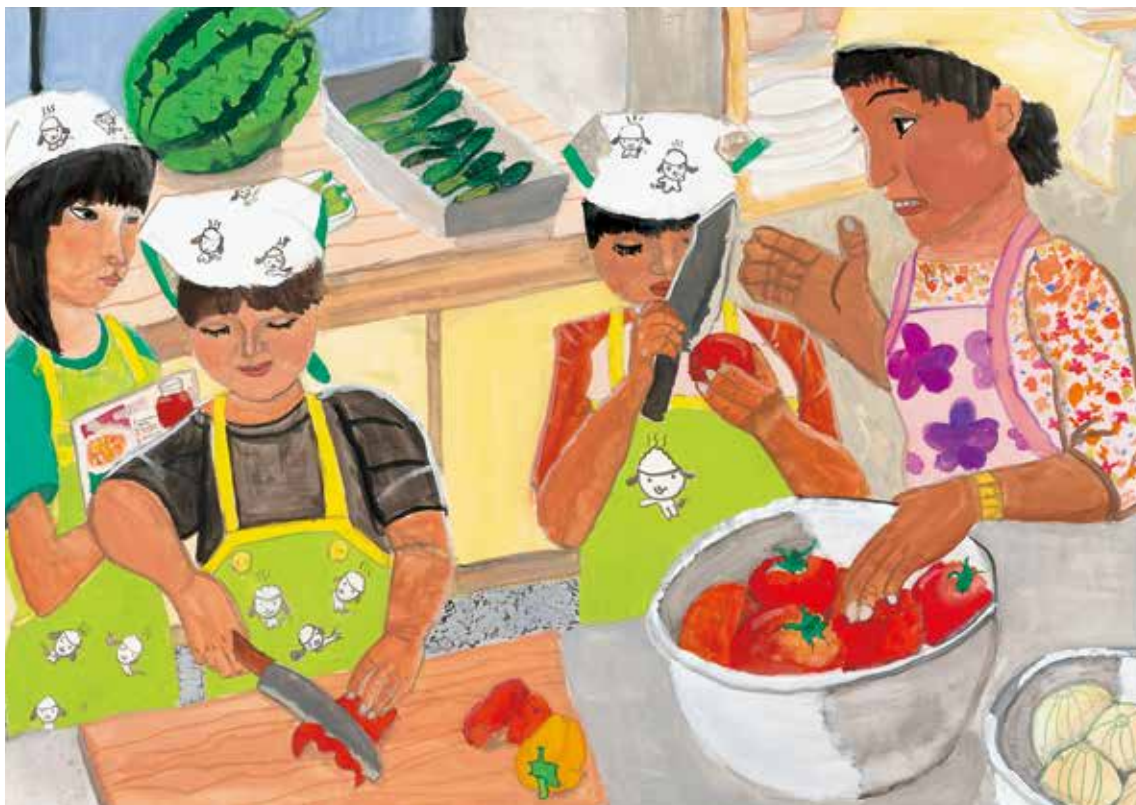
「おじいちゃんとはたけ」 大海小学校 1 年／一二三 朝陽（J A 石川かほく）

石川県金融広報委員会賞



「葉たばこの収穫」 富来小学校 6 年／高野 愛李（J A 志賀）

農林中央金庫賞



「楽しいわかばキッズクラブ」 天神山小学校 4年／長崎 文香（JA能登わかば）

JAバンク石川信連理事長賞



「うしのしよくじ」 片山津小学校 1年／三田村 依音（JA加賀）

金賞

GOLD

受賞者7名



「すいかとり」
瑞穂小学校 1 年
中谷 舞夏（JAはくい）



「なすのとりいれ」
菅原小学校 2 年
兵地 菜月（JAののいち）



「畑とこうんき」
鹿西小学校 3 年
青野 剛（JA能登わかば）



「きゅうりのしゅうかく」
第一小学校 4 年
西川 由理（J A 小松市）



「田ならしするじいちゃん」
高浜小学校 5 年
橋川 裕貴（J A 志賀）

金賞

GOLD

受賞者7名



「大収穫」

天神山小学校 6年／板谷 みずき（JA能登わかば）



「畑を耕す人」

能都中学校 1年／岩崎 良介（JAおおぞら）

銀
賞

SILVER

受賞者11名



「おとうさんが畑をがんばるところ」
越路小学校 1 年
桜井 涼香 (J A 能登わかば)



「川北の美味しいお米」
川北小学校 2 年
徳山 瑠実 (J A 能美)



「うしとぼく」
富来小学校 2 年
池端 俊哉 (J A 志賀)



「コンテナいっぱいトマトをつんで」
寺井小学校 3 年
南野 里帆 (J A 能美)

銀賞

SILVER

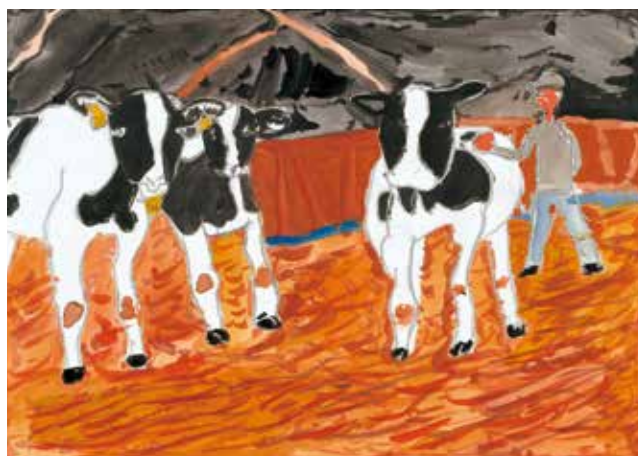
受賞者11名



「牛にゆうがでできます。」
片山津小学校 3 年
三田村 侑為 (J A 加賀)



「育てたトマトはおいしいね」
津幡小学校 4 年
英 咲希 (J A 石川かほく)



「牛とっしょ」
富来小学校 4 年
池端 久泰 (J A 志賀)



「春」
辰口中央小学校 5 年
山野下 味歩（J A 能美）



「稲刈りの様子」
津幡小学校 5 年
岡山 太一（J A 石川かほく）



「おばあちゃんの野菜に感謝」
大浦小学校 6 年
堀越 龍誠（J A 金沢市）

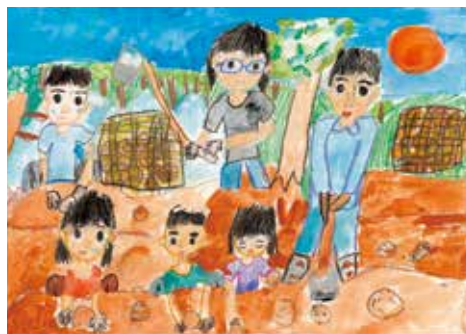


「かぼちゃの出荷」
大谷中学校 2 年
庄田 有希（J A すずし）

銅賞

COPPER

受賞者17名



「かぞくみんなで」
瑞穂小学校 1 年／平野 生純（J A はくい）



「J A すいかはおいしいよ」
加茂小学校 1 年／西村しゅんすけ（J A 志賀）



「じいちゃんじょうずやね」
加茂小学校 1 年／細川ゆかり（J A 志賀）



「牧草の刈かく、梱包あつめ」
有磯小学校 1 年／上田 望（J A 能登わかば）



「おいしいお米できたかな。」
勅使小学校 2 年／谷口 颯（J A 加賀）



「農業体験」
鳥屋小学校 2 年／岡島 瑞紗（J A 能登わかば）



「おじいちゃんの稲刈り」
勅使小学校 3 年／下出 侑征（J A 加賀）



「トラクター」
みさき小学校 3 年／倉指 大樹（J A すずし）



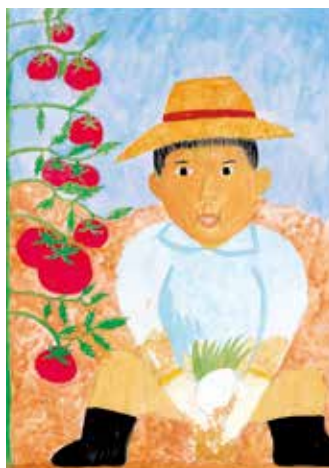
「食べたいな、トウモロコシ」
堀松小学校 4 年／橋本沙耶香（J A 志賀）



「大好きなスイカ」
堀松小学校 4 年／大野 瑞歩（J A 志賀）



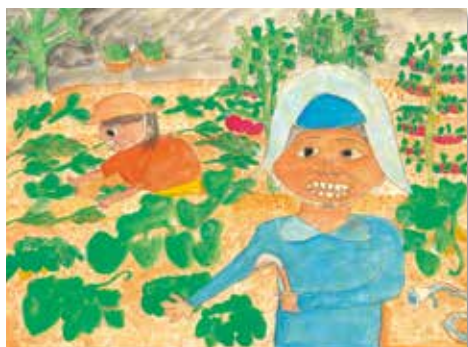
「畑の水やり」
富来小学校 4 年
高島 早紀（J A 志賀）



「どっこいしょ」
中海小学校 5 年
濱口 楓（J A 小松市）



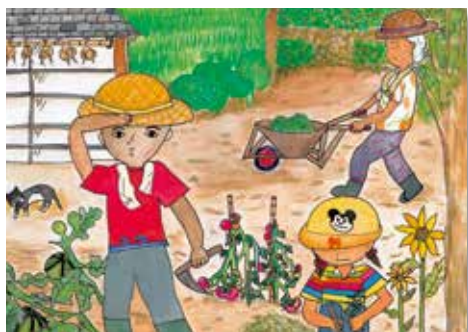
「畑をたがやすじいちゃん」
瑞穂小学校 5 年
高木 一成（J A はくい）



「学校の畑」
南郷小学校 5 年／田村穂乃香（J A 加賀）



「稲かり」
粟津小学校 5 年／高荷 直輝（J A 小松市）



「あついなあ」
志加浦小学校 6 年／大石 舞衣（J A 志賀）



「なすびの大収穫」
三井小学校 6 年／杉木 淳美（J A おおぞら）



第1回石川県貯蓄推進委員会賞 昭和53年
津幡町立能瀬小学校4年／河原幸司



第2回石川県信連賞 昭和54年
小松市立安宅中学校1年／松浦みどり



第3回石川県貯蓄推進委員会賞 昭和55年
小松市立安宅小学校5年／清水香菜子



第5回石川県知事賞 昭和57年
珠洲市立宝立中学校3年／清長ヒサエ



第6回石川県知事賞 昭和58年
志賀町立上熊野小学校1年／米町俊充



第6回石川県貯蓄推進委員会賞 昭和58年
珠洲市立飯田小学校5年／角谷和彦



第7回石川県信連賞 昭和59年
能都町立神野小学校6年／奥野尊幸



第8回石川県教育委員会賞 昭和60年
志賀町立志加浦小学校5年／谷口勝洋



第13回石川県教育委員会賞 平成2年
輪島市立野町小学校6年／森本千恵



第13回農林中央金庫賞 平成2年
輪島市立野町小学校3年／松岡一生



第13回石川県信連賞 平成2年
穴水町立兜小学校5年／松井和香子



第14回石川県知事賞 平成3年
高松町立大海小学校6年／西公一

過去の受賞者の声



第1回 受賞者 昭和53年

農林中央金庫賞受賞
金崎 祐子 さん(旧姓 池田)
当時、志雄中学校2年

「くらしの絵コンクール」で入賞した時はとても嬉しかったです。それから美大、友禅の工房と色々な美術に触れる事が出来ました。

そして、入賞の年から三十年、私は今、中学三年生を頭に三人の子の親となり、楽しく忙しく過ごしています。それでも、近所の方から花を頂くと写生したり、時々絵手紙を描いたり描く事を忘れないように心掛けています。いつか、じっくりと絵を描ける日が来るのを楽しみにしています。



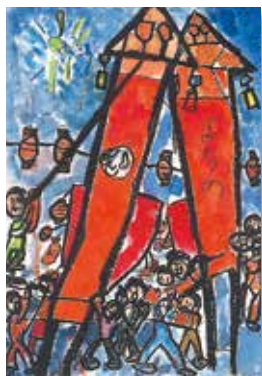
第9回 受賞者 昭和61年

J A石川信連会長賞受賞
井元 英明 さん
当時、神野小学校1年

「くらしの絵」コンクール30周年おめでとうございます。私が受賞したのは第9回のコンクールで、小学校1年生のときのことでした。

在籍していた小学校の写生大会で牧場へ行き、牛の大きさに驚きながら絵を描いたことを今でもよく覚えています。

残念ながら今ではその小学校も廃校となっていました。受賞の喜びとともに胸に残り続けることと思います。



第14回 J A 石川信連賞 平成3年
輪島市立野町小学校1年／豊原裕介



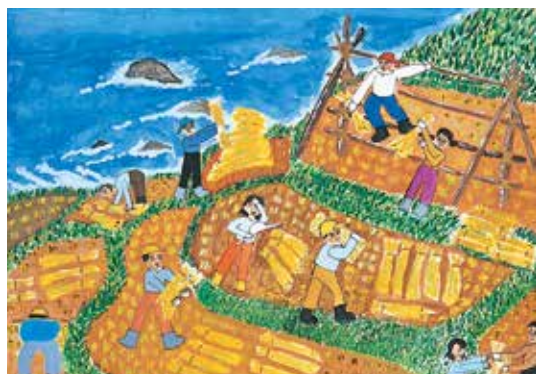
第15回 石川県貯蓄推進委員会賞 平成4年
穴水町立穴水小学校6年／山崎豊子



第15回 農林中央金庫賞 平成4年
津幡町立萩野台小学校3年／荒木千恵



第15回 J A 石川信連会長賞 平成4年
穴水町立岩車小学校1年／かのまなみ



第16回 石川県知事賞 平成5年
輪島市立東小学校5年／中前碧



第16回 石川県貯蓄推進委員会賞 平成5年
加賀市立錦城小学校2年／池田志保



第17回 石川県教育委員会賞 平成6年
輪島市立野町小学校5年／橋田裕貴



第17回 石川県貯蓄推進委員会賞 平成6年
加賀市立黒崎小学校4年／野口雄輝



第18回石川県知事賞 平成7年
輪島市立滝又小学校5年／児島智美



第18回石川県教育委員会賞 平成7年
穴水町立岩車小学校1年／大野木貴浩



第19回石川県知事賞 平成8年
津幡町立中条小学校5年／岡田翔太



第19回石川県貯蓄推進委員会賞 平成8年
小松市立国府小学校1年／高飛雄馬

過去の受賞者の声

第19回受賞者 平成8年



石川県知事賞受賞
岡田 翔太 さん
当時、中条小学校5年

今から12年前の小5の夏休み、学校の宿題で「くらしの絵コンクール」の絵を描きました。今でも覚えているのは、汗と涙を流しながら絵を描いたという辛い思い出と、その結果すばらしい賞をいただく事ができ、祖父母がとても喜んでくれたということです。

現在では就職して毎日忙しい日々を送っていますが、絵を描くこともなくなりましたが、あの辛かった宿題も今ではいい思い出として残っています。





第20回石川県知事賞 平成9年
七尾市立東湊小学校3年／横井幸子



第20回石川県教育委員会賞 平成9年
七塚町立七塚小学校1年／松井瞭介



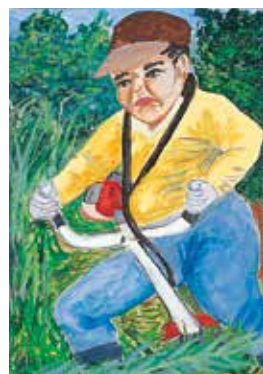
第21回石川県知事賞 平成10年
珠洲市立宝立小学校4年／橋本幸弥



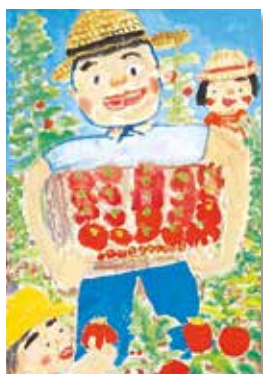
第21回石川県教育委員会賞 平成10年
金沢市立千坂小学校5年／横江安香里



第22回石川県知事賞 平成11年
輪島市立南志見小学校1年／酒師寛幸



第22回石川県教育委員会賞 平成11年
辰口町立和気小学校4年／海道正人



第23回石川県知事賞 平成12年
私立北陸学院小学校3年／近藤路音



第23回石川県教育委員会賞 平成12年
能登町立神野小学校1年／水口洸毅



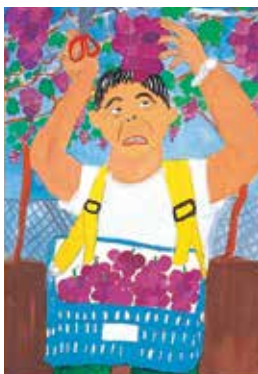
第24回石川県知事賞 平成13年
志賀町立堀松小学校3年／河野友紀



第24回石川県教育委員会賞 平成13年
北陸学院小学校4年／近藤路音



第25回石川県知事賞 平成14年
門前町立仁岸小学校2年／松本広平



第25回石川県教育委員会賞 平成14年
加賀市立片山津小学校3年／宮元香澄

過去の受賞者の声

第23回受賞者 平成12年



石川県知事賞受賞 近藤 路音 さん

当時、北陸学院小学校3年

僕が幼稚園の頃まで住んでいた田上地区は、再開発ですっかり姿を変えてしまいましたが、今から思えば季節感あふれる自然の宝庫でした。夏の夜には蛍が飛び交い、畦道から鮠が顔を出し、雉の鳴き声も聞こえる世界で、店では年中見かけるトマトも胡瓜もナスも、四季がはっきりしている畑では、収穫の時期が決まっていた驚きでした。その頃のことを思い出しつつ描いたのが、太陽の光をいっぱい浴び、たわわに実った誰もがもいでみたいと思う美味しそうな真っ赤なトマトです。県知事賞を戴いたこの絵には、僕の思い出がいっぱい詰まっており、とりわけ懐かしいものです。





第26回石川県知事賞 平成15年
輪島市立南志見小学校1年／堂前達也



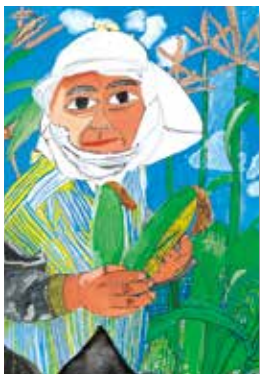
第26回石川県教育委員会賞 平成15年
珠洲市立上戸小学校5年／今井美緒



第26回金融広報委員会賞 平成15年
門前町立仁岸小学校3年／松本広平



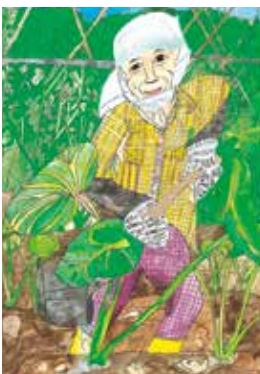
第27回石川県知事賞 平成16年
珠洲市立上戸小学校6年／今井美緒



第27回石川県教育委員会賞 平成16年
門前町立櫛比小学校5年／岡本惇太



第27回金融広報委員賞 平成16年
能登町立白丸小学校1年／坂口めぐみ



第28回石川県知事賞 平成17年
門前町立櫛比小学校6年／岡本惇太



第28回石川県教育委員会賞 平成17年
志賀町立高浜小学校3年／橋川裕貴



第28回金融広報委員会賞 平成17年
金沢市立中央小学校1年／河津史織



第29回石川県知事賞 平成18年
中能登町立滝尾小学校3年／日下貴文



第29回石川県教育委員会賞 平成18年
津幡町立条南小学校5年／道下奈津子



第29回金融広報委員会賞 平成18年
能登町立松波小学校1年／坂口達哉

過去の受賞者の声

第28回受賞者 平成17年



石川県知事賞受賞
岡本 惇太 さん
当時、門前町立櫛比小学校6年

私がくらしの絵を始めたのは、小学校1年生のときで、そのとき初めて銅賞をもらいました。5年生のときには、教育委員会賞を頂き、6年生のときには知事賞を頂きました。頂いたときは、信じられないほど嬉しかったです。私の家は農家なので、題材は祖父母の農作業の様子を中心に描きました。稲やスイカ、とうもろこし、サトイモ、たくさんの野菜を題材にし、いろいろな色を使うなど工夫しました。中学校に入ってから、描いていませんが良い思い出です。



第1回 昭和53年	石川県知事賞 涌下栄一	羽咋市立 飯山小学校 5年 (J Aはい)
	石川県教育委員会賞 山本まき子	津幡町立 能瀬小学校 1年 (J A石川かほく)
	石川県貯蓄推進委員会賞 河原幸司	津幡町立 能瀬小学校 4年 (J A石川かほく)
	農林中央金庫賞 池田祐子	志雄町立 志雄中学校 2年 (J Aはい)
	石川県信連賞 山本貴弘	輪島市立 寺山小学校 6年 (J A町野町)

第2回 昭和54年	石川県知事賞 森本桐子	穴水町立 木原小学校 1年 (J Aおおぞら)
	石川県教育委員会賞 谷内吉彦	輪島市立 下山小学校 2年 (J Aおおぞら)
	石川県貯蓄推進委員会賞 水上 貢	能都町立 神野小学校 3年 (J Aおおぞら)
	農林中央金庫賞 河原幸司	津幡町立 能瀬小学校 5年 (J A石川かほく)
	石川県信連賞 松浦みどり	小松市立 安宅中学校 1年 (J A枚)

第3回 昭和55年	石川県知事賞 延命公文	輪島市立 寺山小学校 (J A町野町)
	石川県教育委員会賞 谷内大志	能都町立 鵜川小学校 (J Aおおぞら)
	石川県貯蓄推進委員会賞 清水香菜子	小松市立 安宅小学校 5年 (J A枚)
	農林中央金庫賞 高野美保子	能都町立 宮地小学校 3年 (J Aおおぞら)
	石川県信連賞 下浦泰彦	珠洲市立 東山中小学校 (J Aすずし)

第4回 昭和56年	石川県知事賞 延命由意子	輪島市立 寺山小学校 3年 (J A町野町)
	石川県教育委員会賞 直下勝弘	加賀市立 三谷小学校 6年 (J A加賀)
	石川県貯蓄推進委員会賞 浜坂親祐	珠洲市立 直小学校 1年 (J Aすずし)
	農林中央金庫賞 池田純一	珠洲市立 上黒丸小学校 2年 (J Aすずし)
	石川県信連賞 浜谷伸一	珠洲市立 宝立中学校 1年 (J Aすずし)

第5回 昭和57年	石川県知事賞 清長ヒサエ	珠洲市立 宝立中学校 3年 (J Aすずし)
	石川県教育委員会賞 岩崎一昭	輪島市立 鵜巣小学校 1年 (J Aおおぞら)
	石川県貯蓄推進委員会賞 奥村真人	津幡町立 中条小学校 2年 (J A石川かほく)
	農林中央金庫賞 宮元克之	珠洲市立 直小学校 4年 (J Aすずし)
	石川県信連賞 井島信一郎	能都町立 神野小学校 3年 (J Aおおぞら)

第6回 昭和58年	石川県知事賞 米町俊充	志賀町立 上熊野小学校 1年 (J A志賀)
	石川県教育委員会賞 中 孝幸	輪島市立 東小学校 2年 (J A町野町)
	石川県貯蓄推進委員会賞 角谷和彦	珠洲市立 飯田小学校 5年 (J Aすずし)
	農林中央金庫賞 上野弘美	能都町立 神野小学校 1年 (J Aおおぞら)
	石川県信連賞 池口美樹	輪島市立 寺山小学校 3年 (J A町野町)

第7回 昭和59年	石川県知事賞 山本和弘	穴水町立 岩車小学校 3年 (J Aおおぞら)
	石川県教育委員会賞 田島理恵	珠洲市立 上黒丸小学校 1年 (J Aすずし)
	石川県貯蓄推進委員会賞 藤田真吾	輪島市立 東小学校 4年 (J A町野町)
	農林中央金庫賞 新保 昭	珠洲市立 日置小学校 2年 (J Aすずし)
	石川県信連賞 奥野尊幸	能都町立 神野小学校 6年 (J Aおおぞら)

第8回 昭和60年	石川県知事賞 石崎誠和	輪島市立 金蔵小学校 3年 (J A町野町)
	石川県教育委員会賞 谷口勝洋	志賀町立 志加浦小学校 5年 (J A志賀)
	石川県貯蓄推進委員会賞 井下奈美	輪島市立 東小学校 1年 (J A町野町)
	農林中央金庫賞 東口直樹	能都町立 神野小学校 2年 (J Aおおぞら)
	石川県信連賞 岩田正勝	輪島市立 金蔵小学校 4年 (J A町野町)

第9回 昭和61年	石川県知事賞 細川圭子	輪島市立 寺山小学校 3年 (J A町野町)
	石川県教育委員会賞 片山善博	輪島市立 東小学校 1年 (J A町野町)
	石川県貯蓄推進委員会賞 吉尾敬子	能都町立 神野小学校 4年 (J Aおおぞら)
	農林中央金庫賞 上 幸二	輪島市立 東小学校 2年 (J A町野町)
	石川県信連賞 井元英明	能都町立 神野小学校 1年 (J Aおおぞら)
	石川県信連賞 出村瑞恵	田鶴浜町立 田鶴浜小学校 6年 (J A能登わかば)

第10回 昭和62年	石川県知事賞 細川圭子	輪島市立 寺山小学校 4年 (J A町野町)
	石川県教育委員会賞 清女谷由美	穴水町立 松丘小学校 1年 (J Aおおぞら)
	石川県貯蓄推進委員会賞 浜野ゆかり	穴水町立 諸橋小学校 3年 (J Aおおぞら)
	農林中央金庫賞 川原良枝	輪島市立 東小学校 2年 (J A町野町)
	石川県信連賞 道端 慎	穴水町立 諸橋小学校 5年 (J Aおおぞら)

第11回 昭和63年	石川県知事賞 堤 文治	輪島市立 金蔵小学校 1年 (J A町野町)
	石川県教育委員会賞 上 幸二	輪島市立 東小学校 4年 (J A町野町)
	石川県貯蓄推進委員会賞 池谷内恵	輪島市立 寺山小学校 6年 (J A町野町)
	農林中央金庫賞 清女谷由美	穴水町立 松丘小学校 2年 (J Aおおぞら)
	石川県信連賞 梶原 純	輪島市立 金蔵小学校 2年 (J A町野町)

第12回 平成元年	石川県知事賞 上 めぐみ	輪島市立 東小学校 6年 (J A町野町)
	石川県教育委員会賞 澤田克史	輪島市立 大屋小学校 1年 (J Aおおぞら)
	石川県貯蓄推進委員会賞 松岡一生	輪島市立 町野小学校 2年 (J A町野町)
	農林中央金庫賞 新田清二	穴水町立 岩車小学校 4年 (J Aおおぞら)
	石川県信連賞 南 克治	輪島市立 寺山小学校 3年 (J A町野町)

第13回 平成2年	石川県知事賞 かみでよしはる	穴水町立 松丘小学校 1年 (J Aおおぞら)
	石川県教育委員会賞 森木千恵	輪島市立 町野小学校 6年 (J A町野町)
	石川県貯蓄推進委員会賞 富田恵子	七尾市立 小丸山小学校 2年 (J A能登わかば)
	農林中央金庫賞 松岡一生	輪島市立 町野小学校 3年 (J A町野町)
	石川県信連賞 松井和香子	穴水町立 立兜小学校 5年 (J Aおおぞら)

第14回 平成3年	石川県知事賞 西 公一	高松町立 大海小学校 6年 (J A石川かほく)
	石川県教育委員会賞 引戸沙耶香	輪島市立 東小学校 4年 (J A町野町)
	石川県貯蓄推進委員会賞 橋田周幸	輪島市立 町野小学校 3年 (J A町野町)
	農林中央金庫賞 荒川千恵	七尾市立 高階小学校 5年 (J A能登わかば)
	J A石川信連賞 豊原裕介	輪島市立 町野小学校 1年 (J A町野町)

第15回 平成4年	石川県知事賞 竹中祐香	穴水町立 兜小学校 6年 (J Aおおぞら)
	石川県教育委員会賞 山田正樹	七尾市立 高階小学校 5年 (J A能登わかば)
	石川県貯蓄推進委員会賞 山崎豊子	穴水町立 穴水小学校 6年 (J Aおおぞら)
	農林中央金庫賞 荒木千恵	津幡町立 萩野台小学校 3年 (J A石川かほく)
	J A石川信連賞 かのまなみ	穴水町立 岩車小学校 1年 (J Aおおぞら)

第16回 平成5年	石川県知事賞 中前 碧	輪島市立 東小学校 5年 (J A町野町)
	石川県教育委員会賞 宮下泰明	穴水町立 兜小学校 6年 (J Aおおぞら)
	石川県貯蓄推進委員会賞 池田志保	加賀市立 錦城小学校 2年 (J A加賀)
	農林中央金庫賞 もりたみな	穴水町立 岩車小学校 1年 (J Aおおぞら)
	J A石川信連会長賞 中川将宏	小松市立 中海小学校 4年 (J A小松市)

第17回 平成6年	石川県知事賞 かいどうみつひで	辰口町立 和気小学校 2年 (J A能美郡)
	石川県教育委員会賞 橋田裕貴	輪島市立 町野小学校 5年 (J A町野町)
	石川県貯蓄推進委員会賞 野口雄輝	加賀市立 黒崎小学校 4年 (J A加賀)
	農林中央金庫賞 おもてけいじろう	輪島市立 東小学校 1年 (J A町野町)
	J A石川信連会長賞 中前 碧	輪島市立 東小学校 6年 (J A町野町)

第18回 平成7年	石川県知事賞 児島智美	輪島市立 滝又小学校 5年 (J Aおおぞら)
	石川県教育委員会賞 大野木貴浩	穴水町立 岩車小学校 1年 (J Aおおぞら)
	石川県貯蓄推進委員会賞 ひきどあき子	輪島市立 東小学校 2年 (J A町野町)
	農林中央金庫賞 田嶋敬士	小松市立 中海小学校 1年 (J A小松市)
	J A石川信連会長賞 中林由紀	根上町立 浜小学校 4年 (J A根上)
	J A石川信連会長賞 新宅祥子	小松市立 国府小学校 6年 (J A小松市)

第19回 平成8年	石川県知事賞 岡田翔太	津幡町立 中条小学校 5年 (J A石川かほく)
	石川県教育委員会賞 児島智美	輪島市立 滝又小学校 6年 (J Aおおぞら)
	石川県貯蓄推進委員会賞 高飛雄馬	小松市立 国府小学校 1年 (J A小松市)
	農林中央金庫賞 田端 敦	珠洲市立 本小学校 2年 (J Aすずし)
	J A石川信連会長賞 畠中芽生	輪島市立 滝又小学校 4年 (J Aおおぞら)

第20回 平成9年	石川県知事賞 横井幸子	七尾市立 東湊小学校 3年 (J A能登わかば)
	石川県教育委員会賞 松井瞭介	七塚町立 七塚小学校 1年 (J A石川かほく)
	石川県貯蓄推進委員会賞 岩下愛里	穴水町立 岩車小学校 2年 (J Aおおぞら)
	農林中央金庫賞 横江安香里	金沢市立 千坂小学校 4年 (J A金沢市)
	J A石川信連会長賞 中村千尋	七尾市立 徳田小学校 5年 (J A能登わかば)

第21回 平成10年	石川県知事賞 橋元幸弥	珠洲市立 宝立小学校 4年 (J Aすずし)
	石川県教育委員会賞 横江安香里	金沢市立 千坂小学校 5年 (J A金沢市)
	石川県貯蓄推進委員会賞 四十澤健人	輪島市立 鳳至小学校 2年 (J Aおおぞら)
	農林中央金庫賞 進宅英登	金沢市立 鞍月小学校 1年 (J A金沢中央)
	J Aバンク石川信連会長賞 児島智美	輪島市立 上野台中学校 2年 (J A小松市)

第22回 平成11年	石川県知事賞 酒師寛幸	輪島市立 南志見小学校 1年 (J Aおおぞら)
	石川県教育委員会賞 海道正人	辰口町立 和気小学校 4年 (J A能美)
	石川県貯蓄推進委員会賞 新田哲也	穴水町立 岩車小学校 2年 (J Aおおぞら)
	農林中央金庫賞 児島智美	輪島市立 上野台小学校 3年 (J Aおおぞら)
	J Aバンク石川信連会長賞 横江安香里	金沢市立 千坂小学校 6年 (J A金沢市)

第23回 平成12年	石川県知事賞 近藤路音	北陸学院 小学校 3年 (J A金沢市)
	石川県教育委員会賞 水口洸毅	能登町立 神野小学校 1年 (J Aおおぞら)
	石川県貯蓄推進委員会賞 古今美帆	輪島市立 河井小学校 3年 (J Aおおぞら)
	農林中央金庫賞 高木智哉	穴水町立 穴水小学校 5年 (J Aおおぞら)
	J Aバンク石川信連会長賞 大下真純	内浦町立 松波小学校 4年 (J A内浦町)

第24回 平成13年	石川県知事賞 河野友紀	志賀町立 堀松小学校 3年 (J A志賀)
	石川県教育委員会賞 近藤路音	北陸学院 小学校 4年 (J A金沢市)
	石川県貯蓄推進委員会賞 山本大樹	内瀬町立 西荒屋小学校 1年 (J A石川かほく)
	農林中央金庫賞 田谷光輝	輪島市立 河井小学校 1年 (J Aおおぞら)
	J Aバンク石川信連理事長賞 田中 大地	辰口町立 和気小学校 6年 (J A能美)

第25回 平成14年	石川県知事賞 松本広平	門前町立 仁岸小学校 2年 (J Aおおぞら)
	石川県教育委員会賞 宮元香澄	加賀市立 片山津小学校 3年 (J A加賀)
	石川県金融広報委員会賞 上野夏実	輪島市立 町野小学校 1年 (J A町野町)
	農林中央金庫賞 寺西 藍	加賀市立 作見小学校 5年 (J A加賀)
	J Aバンク石川信連理事長賞 大下美奈	内浦町立 松波小学校 5年 (J A内浦町)

第26回 平成15年	石川県知事賞 堂前達也	輪島市立 南志見小学校 1年 (J Aおおぞら)
	石川県教育委員会賞 今井美緒	珠洲市立 上戸小学校 5年 (J Aすずし)
	石川県金融広報委員会賞 松本広平	門前町立 仁岸小学校 3年 (J Aおおぞら)
	農林中央金庫賞 近藤路音	金沢市立 北陸学院小学校 6年 (J A金沢市)
	J Aバンク石川信連理事長賞 道下奈津子	津幡町立 条南小学校 2年 (J A石川かほく)

第27回 平成16年	石川県知事賞 今井美緒	珠洲市立 上戸小学校 6年 (J Aすずし)
	石川県教育委員会賞 岡本惇太	門前町立 櫛比小学校 5年 (J Aおおぞら)
	石川県金融広報委員会賞 坂口めぐみ	能登町立 白丸小学校 1年 (J A内浦町)
	農林中央金庫賞 松本広平	門前町立 仁岸小学校 4年 (J Aおおぞら)
	J Aバンク石川信連理事長賞 道下優太	津幡町立 条南小学校 3年 (J A石川かほく)

第28回 平成17年	石川県知事賞 岡本惇太	門前町立 櫛比小学校 6年 (J Aおおぞら)
	石川県教育委員会賞 橋川裕貴	志賀町立 高浜小学校 3年 (J A志賀)
	石川県金融広報委員会賞 河津史織	金沢市立 中央小学校 1年 (J A金沢市)
	農林中央金庫賞 枳穀峰尚	輪島市立 町野小学校 4年 (J A町野町)
	J Aバンク石川信連理事長賞 岩崎良介	能登町立 真脳小学校 5年 (J Aおおぞら)

第29回 平成18年	石川県知事賞 日下貴文	中能登町立 滝尾小学校 3年 (J A能登わかば)
	石川県教育委員会賞 道下奈津子	津幡町立 条南小学校 5年 (J A石川かほく)
	石川県金融広報委員会賞 坂口達哉	能登町立 松波小学校 1年 (J A内浦町)
	農林中央金庫賞 坂口由佳	能登町立 宇出津小学校 2年 (J Aおおぞら)
	J Aバンク石川信連理事長賞 岩崎良介	能登町立 真脳小学校 6年 (J Aおおぞら)

第30回 平成19年	石川県知事賞 和田祐樹	能登町立 宇出津小学校 3年 (J Aおおぞら)
	石川県教育委員会賞 一二三朝陽	かほく市立 大海小学校 1年 (J A石川かほく)
	石川県金融広報委員会賞 高野愛李	志賀町立 富来小学校 6年 (J A志賀)
	農林中央金庫賞 長崎文香	七尾市立 天神山小学校 4年 (J A能登わかば)
	J Aバンク石川信連理事長賞 三田村依音	加賀市立 片山津小学校 1年 (J A加賀)

学校賞入賞校名簿

第1回 昭和53年	津幡町立能瀬小学校 (J A石川かほく)
	志雄町立志雄中学校 (J Aはくい)
	七尾市立山王小学校 (J A能登わかば)
	柳田村立合鹿小学校 (J Aおおぞら)

第4回 昭和56年	加賀市立黒崎小学校 (J A加賀)
	輪島市立寺山小学校 (J A町野町)
	能都町立神野小学校 (J Aおおぞら)
	内浦町立松波小学校 (J A内浦町)
	珠洲市立宝立中学校 (J Aすずし)
	珠洲市立上黒丸小学校 (J Aすずし)

第7回 昭和59年	加賀市立三木小学校 (J A加賀)
	富来町立熊野小学校 (J A富来町)
	穴水町立岩車小学校 (J Aおおぞら)
	穴水町立木原小学校 (J Aおおぞら)
	能都町立神野小学校 (J Aおおぞら)

第10回 昭和62年	加賀市立三木小学校 (J A加賀)
	津幡町立井上小学校 (J A石川かほく)
	志賀町立上熊野小学校 (J A志賀)
	穴水町立諸橋小学校 (J Aおおぞら)
	穴水町立松丘小学校 (J Aおおぞら)

第13回 平成2年	根上町立浜小学校 (J A根上)
	津幡町立中条小学校 (J A石川かほく)
	七尾市立小丸山小学校 (J A能登わかば)
	穴水町立兜小学校 (J Aおおぞら)
	輪島市立町野小学校 (J A町野町)

第2回 昭和54年	小松市立安宅小学校 (J A牧)
	津幡町立太白台小学校 (J A石川かほく)
	志賀町立上熊野小学校 (J A志賀)
	輪島市立寺山小学校 (J A町野町)

第5回 昭和57年	津幡町立中条小学校 (J A石川かほく)
	能都町立神野小学校 (J Aおおぞら)
	珠洲市立宝立中学校 (J Aすずし)
	珠洲市立上黒丸小学校 (J Aすずし)

第8回 昭和60年	加賀市立金明小学校 (J A加賀)
	志賀町立志加浦小学校 (J A志賀)
	輪島市立東小学校 (J A町野町)
	輪島市立金蔵小学校 (J A町野町)
	能都町立神野小学校 (J Aおおぞら)
	珠洲市立直小学校 (J Aすずし)

第11回 昭和63年	津幡町立萩野台小学校 (J A石川かほく)
	七尾市立天神山小学校 (J A能登わかば)
	輪島市立寺山小学校 (J A町野町)
	輪島市立東小学校 (J A町野町)
	輪島市立金蔵小学校 (J A町野町)

第14回 平成3年	高松町立大海小学校 (J A石川かほく)
	七尾市立高階小学校 (J A能登わかば)
	輪島市立金蔵小学校 (J A町野町)
	輪島市立町野小学校 (J A町野町)

第3回 昭和55年	加賀市立三木小学校 (J A加賀)
	松任市立石川小学校 (J A松任)
	七尾市立高階小学校 (J A能登わかば)
	輪島市立大倉小学校 (J Aおおぞら)

第6回 昭和58年	加賀市立作見小学校 (J A加賀)
	志賀町立志加浦小学校 (J A志賀)
	輪島市立二俣小学校 (J Aおおぞら)
	輪島市立東小学校 (J A町野町)

第9回 昭和61年	加賀市立錦城小学校 (J A加賀)
	金沢市立千坂小学校 (J A金沢市)
	田鶴浜町立田鶴浜小学校 (J A能登わかば)
	輪島市立東小学校 (J A町野町)
	能都町立神野小学校 (J Aおおぞら)

第12回 平成元年	加賀市立金明小学校 (J A加賀)
	内灘町立大根布東小学校 (J A石川かほく)
	鹿島町立御祖小学校 (J A能登わかば)
	穴水町立岩車小学校 (J Aおおぞら)
	輪島市立町野小学校 (J A町野町)

第15回 平成4年	加賀市立山代小学校 (J A加賀)
	内灘町立大根布東小学校 (J A石川かほく)
	志賀町立高浜小学校 (J A志賀)
	穴水町立兜小学校 (J Aおおぞら)
	輪島市立町野小学校 (J A町野町)

第16回 平成5年	小松市立中海小学校 (J A小松市)
	高松町立大海小学校 (J A石川かほく)
	志賀町立高浜小学校 (J A志賀)
	穴水町立兜小学校 (J Aおおぞら)
	輪島市立町野小学校 (J A町野町)
	輪島市立東小学校 (J A町野町)

第17回 平成6年	加賀市立黒崎小学校 (J A加賀)
	辰口町立和気小学校 (J A能美郡)
	宇ノ気町立宇ノ気小学校 (J A石川かほく)
	七尾市立東湊小学校 (J A能登わかば)
	輪島市立町野小学校 (J A町野町)
	輪島市立東小学校 (J A町野町)

第18回 平成7年	小松市立中海小学校 (J A小松市)
	志賀町立上熊野小学校 (J A志賀)
	穴水町立岩車小学校 (J Aおおぞら)
	輪島市立滝又小学校 (J Aおおぞら)
	輪島市立町野小学校 (J A町野町)
	輪島市立東小学校 (J A町野町)
	珠洲市立緑丘中学校 (J Aすずし)

第19回 平成8年	小松市立国府小学校 (J A小松市)
	金沢市立千坂小学校 (J A金沢市)
	七尾市立徳田小学校 (J A能登わかば)
	輪島市立町野小学校 (J A町野町)

第20回 平成9年	小松市立国府小学校 (J A小松市)
	金沢市立千坂小学校 (J A金沢市)
	七尾市立徳田小学校 (J A能登わかば)
	輪島市立町野小学校 (J A町野町)

第21回 平成10年	金沢市立千坂小学校 (J A金沢市)
	金沢市立鞍月小学校 (J A金沢中央)
	輪島市立町野小学校 (J A町野町)
	輪島市立上野台中学校 (J Aおおぞら)

第22回 平成11年	小松市立国府小学校 (J A小松市)
	輪島市立南志見小学校 (J Aおおぞら)
	珠洲市立緑丘中学校 (J Aすずし)

第23回 平成12年	寺井町立寺井小学校 (J A能美)
	津幡町立笠野小学校 (J A石川かほく)
	志雄町立志雄小学校 (J Aはくい)
	穴水町立住吉小学校 (J Aおおぞら)
	能都町立神野小学校 (J Aおおぞら)

第24回 平成13年	門前町立本郷小学校 (J Aおおぞら)
----------------------	------------------------

第25回 平成14年	内浦町立松波小学校 (J A内浦町)
	珠洲市立緑丘中学校 (J Aすずし)

第26回 平成15年	輪島市立河井小学校 (J Aおおぞら)
----------------------	------------------------

第27回 平成16年	門前町立仁岸小学校 (J Aおおぞら)
----------------------	------------------------

第28回 平成17年	小松市立波佐谷小学校 (J A小松市)
----------------------	------------------------

第29回 平成18年	七尾市立天神山小学校 (J A能登わかば)
	珠洲市立みさき小学校 (J Aすずし)

『JAバンク石川 アグリサポート事業』

名付けて、「元気いっぱい！応援宣言!!」

わたしたちJAバンク石川は、
4つの事業を中心とした活動を通じて「元気いっぱい」に
石川の農業振興と地域社会への貢献に取り組めます。

- 1：農業担い手への支援を強化します。
- 2：食農教育をサポートします。
- 3：地域社会への貢献、自然環境を大切にします。
- 4：新しいサービスを提供します。



JAバンク石川は、未来にはばたく子ども達を応援します。